操作に習熟する学習活動に偏らないよう留意して指導すること。

(2) 内容の範囲や程度については，次の事項に配慮するものとする。

ア　〔指導項目〕の(1)のアについては，社会や産業全体の課題とその解決のために商業が果たしている役割，働くことの社会的意義や役割，職業人に求められる倫理観，グローバル化する経済社会で求められる人材，商業の学びの過程などについて扱うこと。イについては，企業の社会的責任を果たすことの重要性及び社会的な課題への対応の現状についても扱うこと。ウについては，生産から消費までの過程に関わるビジネスの動向・課題について扱うこと。

イ　〔指導項目〕の(2)のイについては，ビジネスを円滑に行う上でのコミュニケーションの意義及びビジネスの場面に応じた言葉遣い，話の聞き方，伝え方などに関する基礎的なコミュニケーションの方法について扱うこと。ウについては，情報の信頼性を見極めることの重要性，企業活動に必要な情報の所在などについて扱うこと。

ウ　〔指導項目〕の(3)のアについては，生産要素の概要と希少性，経済主体の役割，経済活動の循環などについて扱うこと。ウについては，物流活動，金融と保険の働きや仕組み及び合理的な流通管理や円滑なサービスの提供を可能にしている情報システムの概要について扱うこと。

エ　〔指導項目〕の(4)のアについては，新たな代金決済の手段とその仕組みについても扱うこと。イについては，ビジネス計算の用具としてのそろばんの歴史についても触れること。

オ　〔指導項目〕の(5)のアについては，起業家精神，ビジネスの創造，経営理念，企業倫理の重要性についても扱うこと。カについては，雇用形態及び雇用の安定，労働時間の管理，福利厚生など雇用に伴う企業の責任について扱うこと。

カ　〔指導項目〕の(6)のアについては，ビジネスに関する国内の身近な地域の課題について扱うこと。

第２　課題研究

１　目　標

商業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，ビジネスを通じ，地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 商業の各分野について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに，相互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。

(2) ビジネスに関する課題を発見し，ビジネスに携わる者として解決策を探究し，科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。

(3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び，ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

２　内　容

１に示す資質・能力を身に付けることができるよう，次の〔指導項目〕を指導する。

〔指導項目〕

(1) 調査，研究，実験

(2) 作品制作

(3) 産業現場等における実習

(4) 職業資格の取得

３　内容の取扱い

(1) 内容を取り扱う際には，次の事項に配慮するものとする。

ア　生徒の興味・関心，進路希望等に応じて，〔指導項目〕の(1)から(4)までの中から，個人又はグループで商業の各分野に関する適切な課題を設定し，主体的かつ協働的に取り組む学習活動を通して，専門的な知識，技術などの深化・総合化を図り，ビジネスに関する課題の解決に取り組むことができるようにすること。なお，課題については，(1)から(4)までの２項目以上にまたがるものを設定することができること。

イ　課題研究の成果について発表する機会を設けるようにすること。

ウ　〔指導項目〕の(4)については，職業資格に関して探究する学習活動を取り入れるよう留意して指導すること。

第３　総合実践

１　目　標

商業の見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して，ビジネスを通じ，地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 商業の各分野について実務に即して総合的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。

(2) ビジネスの実務における課題を発見し，ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。